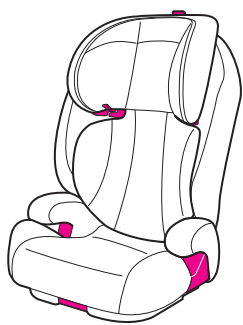


商品名

カйна ハイバックISOFIX

はじめにお読みください



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。お読みになった後も紛失されないように大切に保管（背もたれ背面の収納ポケット）し、必要に応じてお読みください。

本製品は、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

- 本装置は「準汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は規則 No.44 の 04 改定シリーズに基づいて認可されていますが、一部の車両には取付けできない場合があります。当社ホームページまたは店頭にてご確認ください。（www.leaman.co.jp/lineup/model.php）
- 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 または同等の基準で認可された 3 点式 / 巻取り装置なし / 巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。
- 疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーか販売店にご相談ください。

K12

1 表示マークについて

この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

	警告 記載内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。
	注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
	禁止 図示されている内容の禁止を示しています。
	確認 安全のため、必ず確認していただきたいこと。
	アドバイス より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。

2 車両への取付け

本製品の取付け向き

前向き…○ 後向き…×

座席の向き

前向き…○ 後向き…× 横向き…×

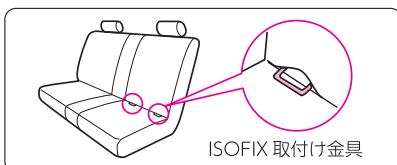
シートベルトの種類

3点式シートベルト…○* 2点式シートベルト…×

*本製品は、UN/ECE 規則 No16 または同等の基準で認可された3点式シートベルトのみでご使用いただけます。その他の特殊なシートベルトにつきましては、販売店または弊社「お客様相談室」にご相談ください。

ISOFIX 取付け金具について

本製品は、車両の ISOFIX 取付け金具（車両のシートバックとシートとの間に装備された棒状の取付け金具）に固定することができます。詳しくは車両の取扱説明書をご確認ください。



取付けできない座席

⚠ 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。

⚠ **注意** 助手席には取付けないでください。

シートベルトの付いていない座席	2点式シートベルトの座席	座面奥行きが43cm以下の座席	エアバッグが装備されている座席
		43cm以下	サイドエアバッグのみの場合には取り付けできません。

- 3点式シートベルトで上下取付け部が共に巻取り式の座席。
- パッシブシートベルト（座席に座るとドアの開閉によって、自動的に脱着されるタイプのシートベルト）のついた座席。
- ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルトのついた座席。
- 車両進行方向に対し、後向き及び横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません。）
- 極端なバケットタイプなどの座席や運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席には取付けできません。
- その他、本製品を固定できない座席。

3 お子さまの適用条件

⚠ 「身長のみやす」や「年齢のみやす」はあくまでも、めやすです。もし身長や年齢が右記条件を満たしている場合でも、「体重条件」を満たしていないお子さまは使用できません。

体重	15kg~36kg 以下
身長のみやす	98~145cm
年齢のみやす	3才頃~11才頃
取付け方向	前向き

緊急時には… 衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

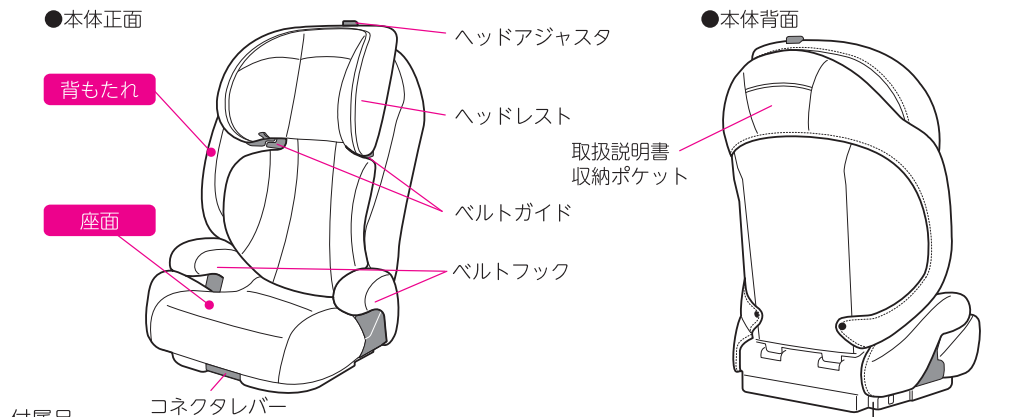
車両バックルのプレスボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトをはずします。

車両バックルのプレスボタンを押しても、タングプレートがはずれない場合はシートベルトカッター（市販品）などで車両シートベルトを切断してお子さまを救出してください。

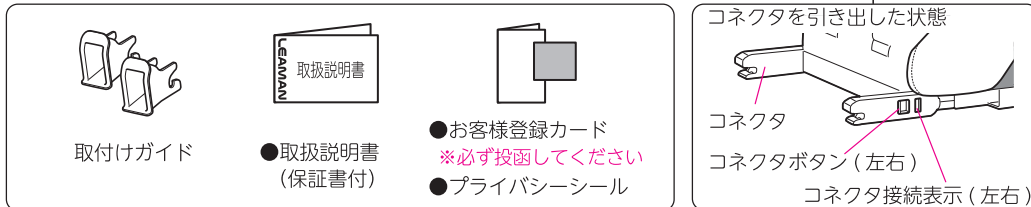
4 各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。

*使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。



付属品



●本製品はメーカー保証が付帯しております。ご購入後、必ず、必要事項をご記入の上、レシートと一緒に保管してください。

5 組み立て

背もたれの取付け方

- ① 平らな場所で、背もたれ下部のフックを座面後部のジョイントに上から差し込む。
- ② ①ジョイント部をカバーの上から、手でやや強めに押さえながら、②背もたれを「カチッ」と音がするまで起こす。
- ③ 背もたれを前後に動かし、下端が確実に接続されていることを確かめる。
- ④ 座面後部のカバー一部分を背もたれのシートカバー内側に入れて使用します。

⚠ 背もたれの下端が浮かないようにセットしてください。

⚠ 背もたれと座面の間に指などをはさまないようにご注意ください。

⚠ 組み立てた本製品を運ぶ際には、必ず背もたれと座面の両方を支えるようにお持ちください。

⚠ ジョイント部の1つ目の突起部を越え、背もたれと座面がしっかりとはめ込まれていることを確認してください。

⚠ 座面のみでの使用はしないでください。ご使用の際は、必ず背もたれを取付けてください。

背もたれの取りはずし方
上記「背もたれの取付け方」の逆の手順でおこないます。

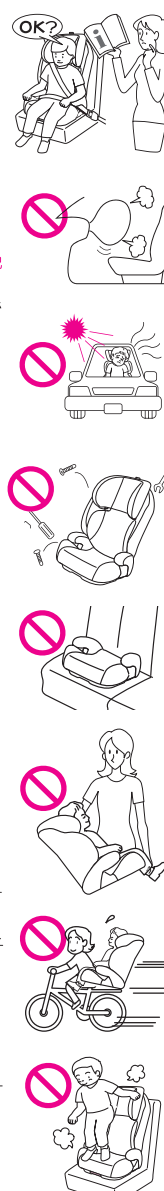
6 安全にお使いいただくために

⚠ 記載内容を守らないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、ご使用ください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- 車両シートベルトのバックルをはずしたままのご使用は危険ですので絶対にしないでください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。
- 本製品を保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期間放置しないでください。
- お子さまが乗っていない場合、本製品はトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。（コネクタ使用の場合はしっかりと取付けておいてください。）
- 本製品を改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとり放置することはしないでください。
- 保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。
- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。（胸が圧迫され、しめつけられてしまいます。）
- 肩ベルトが首にかかっていると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にかからないよう調整してください。
- 運転中に本製品の操作（ベルト調節・角度調節などの操作）をしないでください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与える恐れがあります。）
- 背もたれのみでは使用しないでください。
- 座面のみでの使用はできません。ご使用の際は、必ず背もたれを取付けてください。

⚠ 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことをご確認ください。（確認は停車し、安全な状態でおこなってください。）
- 本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
- 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、本製品のベルトフックの端に体重をかけると、転倒してケガなどを起こすおそれがあります。
- お子さまが本製品の上で立ち上がったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。本製品と車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。その際、ISOFIX コネクターや ISOFIX 取付け金具に干渉しないようご注意ください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないように本製品を取付けてください。
- 車両シートベルト及び本製品を鋭利なもので傷つけないようご注意ください。
- 本製品を車両以外では使用しないでください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。



7 ご使用方法 ● 取付けには「コネクタを使用しない」と「コネクタを使用する」の2通りの方法があります。

ベルトガイド(ヘッドレスト)の調節

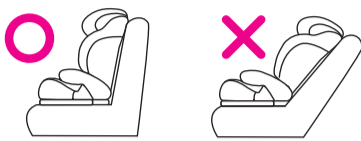
⚠ ベルトガイドは、車両シートベルト(肩ベルト)がお子さまの正しい肩の位置で締められる様に調節するものです。お子さまが成長し、ベルトガイドが低くなった時にはヘッドレストの高さを調節し直してください。



お子さまを座らせる前の準備 ◎コネクタを使用しない (ISOFIX取付け金具のない車両や、コネクタを使用する)と本体と車両部品が干渉する場合。

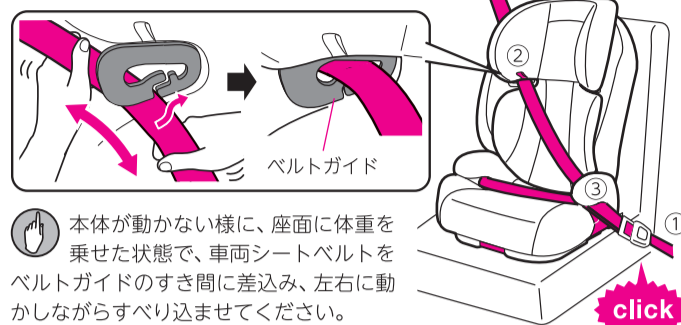
1 コネクタが収納された状態で、背もたれと座面の後部が、車両座席の背もたれに密着するように置く。車両ヘッドレストが干渉する場合は上げるか、取りはずす。

⚠ 車両座席の背もたれの角度は、できる限り起こしてご使用ください。倒しすぎた状態で使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。



2 ヘッドレストをいったん一番上に上げて、①車両シートベルトをかけて、バックルに確実にロックする。②肩ベルトをベルトガイドに通す。通し終わったらヘッドレストは降ろし、③肩ベルトと腰ベルトをベルトフックに引っかける。

【ベルトガイドへの通し方】



ⓘ 本体が動かない様に、座面に体重を乗せた状態で、車両シートベルトをベルトガイドのすき間に差込み、左右に動かしながらすり込ませてください。

⚠ お子さまが乗っていない場合、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。

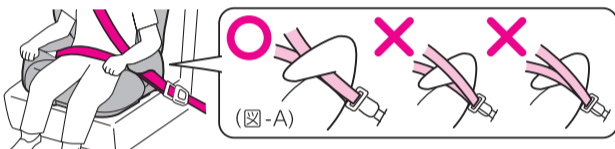
お子さまの座らせ方

1 バックルをいったんはずし、お子さまを深く着座させ、車両シートベルトをバックルにロックする。



⚠ お子さまの背中や腰が背もたれからはなれないようにしてください。

2 肩ベルトと腰ベルトを、ベルトフックに引っかける。



完了チェック

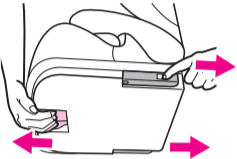
- 車両シートベルトがバックルに確実にロックされていること。
- お子さまが本製品に深く腰掛けていること。
- 車両シートベルトに緩みやねじれがなく、お子さまに当たっていること。
- お子さまの腕が必ず車両シートベルトの上に出ていること。



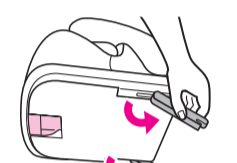
- シートベルト(肩ベルト・腰ベルト)が、ベルトフックを通過していること。(図-A 参照)
- 車両シートベルトの肩ベルトがヘッドレスト下部のベルトガイドを通り、お子さまの首に掛からないように、肩にしっかり掛かっていること。

2 お子さまを座らせる前の準備 ◎コネクタを使用する場合 (ISOFIX取付け金具付きの車両であっても、座席の形状などによってコネクタを使用できない場合があります。)

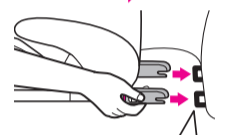
1 座面のコネクタレバーを引き、コネクタボタンに指をかけ、コネクタを引き出す。(片側操作で左右連動します)



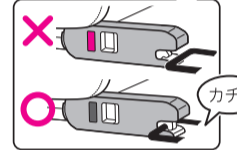
2 コネクタを外向きに180度回転させ、座面と平行にする。(片側操作で左右連動します)



3 車両のISOFIX取付け金具の位置を確認し、コネクタをISOFIX取付け金具に「カチッ」と音がするまで差し込む。

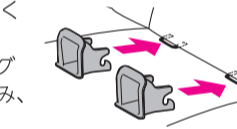


- 左右のコネクタ接続表示が「赤色」から「緑色」に変わったことをご確認ください。
- 左右のコネクタ接続が正しく差込まれていないと衝突時などに重大な障害を負う可能性があります。カチッ



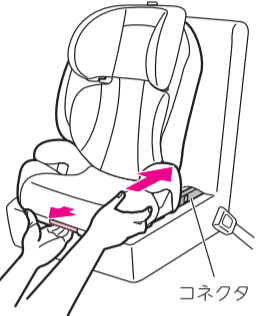
ⓘ 【車両のISOFIX取付け金具が座席に隠れて見えにくい場合】

- 付属品の取付けガイドを使うことで取付けやすくなります。車両座席によって、取付けガイドを取付けできない場合や必要ない場合は、使わずに取付けてください。
- 車両座席の背もたれがリクライニングできる場合は少し倒してから差し込み、最後に背もたれを戻してください。



4 座面のコネクタレバーを引きながら、背もたれと座面の後部が、車両座席の背もたれに密着するように置く。車両ヘッドレストが干渉する場合は上げるか、取りはずす。

⚠ 車両座席の背もたれの角度は、できる限り起こしてご使用ください。倒しすぎた状態で使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。



コネクタ接続表示が「緑色」になっていること。

5 ヘッドレストをいったん一番上に上げて、①車両シートベルトをかけて、バックルに確実にロックする。②肩ベルトをベルトガイドに通す。通し終わったらヘッドレストは降ろし、③肩ベルトと腰ベルトをベルトフックに引っかける。

【ベルトガイドへの通し方】

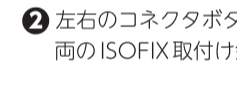
本面「お子さまを座らせる前の準備◎コネクタを使用しない②」参照。



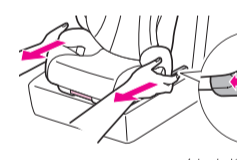
6 「お子さまの座らせ方」【完了チェック】は「コネクタを使用しない」の場合と同様におこなってください。

⚠ コネクタを使用している場合でも車両ベルトを必ず使用してください。

1 座面のISOFIXレバーを引きながら本体を手前に移動させる。

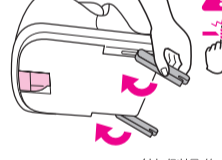


2 左右のコネクタボタンに指をかけ、車両のISOFIX取付け金具から引き離させる。

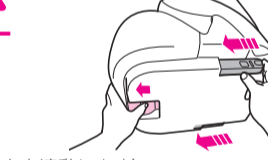


コネクタ収納の仕方

1 コネクタを内向きに180度回転させる。



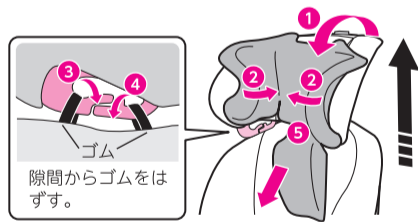
2 座面のISOFIXレバーを引きながらコネクタを収納する。



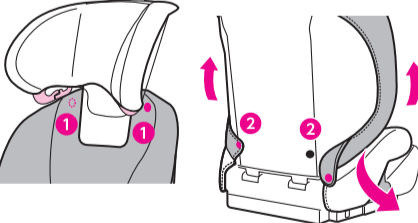
8 お手入れの仕方

シートカバーの取りはずし方

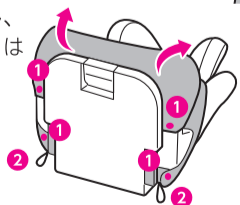
1 ヘッドレストを一番上に上げて、番号順に、ヘッドレストカバーを取りはずす。



2 ①背もたれ上部2カ所と、②背もたれ背面2カ所のホックをはずし、背もたれカバーを上方へ取りはずす。



3 ①座面裏面4カ所のホックと②2カ所のゴムをはずし、座面カバーを取りはずす。



シートカバーの取付け方

上記「シートカバーの取りはずし方」の逆の手順でおこないます。

洗濯方法 シートカバーなどの縫製品の洗い方

- 中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。(一部商品によっては無いものがあります。)
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯後は、脱水機、乾燥機はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。
- アイロン掛けはしないでください。
- ドライクリーニングはしないでください。

日常のお手入れ方法

- 取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。(一部商品によっては無いものがあります。)
- 樹脂部やクッション類は水で濡らして固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

⚠ 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体および表面の生地をいためのおそれがあります。

9 保管/廃棄の仕方/製品仕様

保管

本 体：長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かず、風通しの良い場所で直射日光を避けて保管してください。

取扱説明書：ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、背もたれ背面の収納ポケットに保管してください。(4 各部名称 参照)

廃棄の仕方

- お住まいの各自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどを取りはずして、廃棄してください。

製品仕様

製品サイズ：W470×D470×H665mm
製品重量：6.4kg
材 質：本体…PP、ポリウレタン
シートカバー…表/ポリエステル 裏/ポリウレタン